

オーディオ

オーディオの基本操作.....	80	本機で録音した音楽データを編集する... 105	
オーディオに切り換える.....	80	お気に入りフォルダで管理する.....	105
オーディオの種類を選ぶ.....	80	編集するアルバム・曲を選ぶ.....	106
オーディオの音声を出力したまま		アルバムの情報を編集する.....	106
ナビゲーションに切り換える.....	81	曲の情報を編集する.....	106
オーディオをOFFにする.....	81	アルバムにジャケット写真を登録する... 108	
テレビを見る.....	82	アルバム・曲を再生する/しないを	
テレビ初期設定を行う.....	82	設定する.....	108
緊急警報放送(EWS)について.....	83	再生中のアルバム・曲にジャンルを	
テレビの基本操作.....	84	登録する.....	108
テレビの設定・情報を見る.....	88	アルバム・曲を削除する.....	109
ラジオを聞く.....	89	SDメモリーカード内の録音状況を	
受信中の放送局をリストに		確認する.....	109
記憶させる(プリセットメモリー).....	89	録音した音楽データを初期化する.....	109
記憶させた放送局を選ぶ(プリセット選局)...	89	パソコンでGracenote®データベースを	
FM/AMを切り換える.....	89	更新する(ローカルアップデート)....	110
自車位置に応じて放送局を		パソコンでタイトル情報を個別に	
切り換える(エリアモード).....	89	更新する(カスタムアップデート)....	111
周波数から選局する.....	89	スマートフォンでタイトル情報を	
交通情報を聞く.....	89	個別に更新する.....	112
ディスクを再生する.....	90	SDメモリーカード・	
再生できるディスク.....	90	USBメモリーを再生する.....	113
ディスクを挿入する.....	90	SDメモリーカードを挿入する.....	113
ディスクを取り出す.....	90	SDメモリーカードを取り出す.....	113
microSDメモリーカードの出し入れ.....	91	USBメモリーを本機と接続する.....	113
BDMV・BDVA・AVCHD・AVCRECを		音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する... 114	
再生する.....	92	静止画を再生する.....	116
BDMV・BDVA・AVCHD・AVCRECの		動画を再生する.....	117
設定を変える.....	95	iPodを再生する.....	118
DVD-Video・DVD-VRを再生する.....	96	音質・音場を調整する	
DVD-Video・DVD-VRの		(オーディオチューン).....	120
初期設定を変える.....	98	オーディオチューンのモードを選ぶ.....	120
音楽CD(CD-DA)を再生する.....	99	FADE/BALANCEの	
MP3/WMAを再生する.....	100	出力レベルを調整する.....	120
BLUETOOTH Audioを再生する.....	101	音響効果「音の匠」を設定する.....	121
SDメモリーカードに音楽CDを録音する... 102		SRS CS Autoの設定をする.....	122
録音に関する設定をする.....	102	DSPの設定をする.....	123
録音する.....	102	車速連動音量を補正する.....	123
音楽CDの録音について.....	103	より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)... 124	
本機で録音した音楽データを再生する... 104		Gracenote®をアップデートする.....	124
		イコライザーの設定をする.....	125
		スピーカーの設定をする.....	126
		映像を調整する.....	127
		画質を調整する.....	127
		映像の画面表示サイズを切り換える....	127
		現在地画面にオーディオ映像を表示する... 128	

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、Blu-ray Disc、DVD、SD動画、USB動画、HDMI、VTR、Drive P@ss (動画など)の映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。後席用のモニターに出力される映像について→P.158

オーディオに切り換える

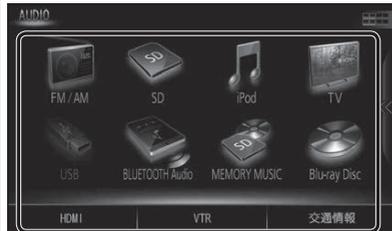
AUDIOを押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態では**AUDIO**を押すと、オーディオメニューが表示されます。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ



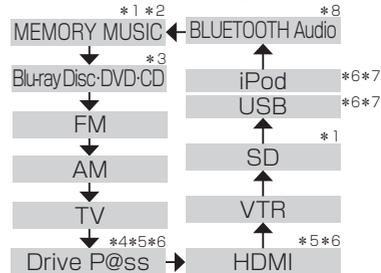
- 選んだオーディオに切り換わります。

ステアリングスイッチで

- 準備 ● ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.23)

SOURCEを割り当てたステアリングスイッチを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。

お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.17
- 地図画面やメニュー画面を表示中にオーディオを操作すると、情報バーに動作状態が約10秒間表示されます。表示例： ○☆バンド

- * 1 SDメモリーカード挿入時のみ
- * 2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- * 3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD・Blu-ray Disc)挿入時のみ
- * 4 本機とスマホ連携接続して、ケーブルで接続されたスマートフォンで、Drive P@ssが起動されている状態のとき(P.142～145)
ただし、上記の状態ではなくても、ビデオカメラなどの機器をHDMIで接続している場合は、Drive P@ssに切り換えるとHDMIの映像が表示されます。
- * 5 後席用モニターに出力できません。
- * 6 USBメモリー、iPod、Drive P@ss(スマホ連携)は、同時に接続できません。また、HDMIとDrive P@ss(スマホ連携)も、同時に接続できません。
- * 7 USBメモリー、iPod接続時のみ(同時には接続できません。)
- * 8 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に**MAP**を押す

- オーディオ画面に戻るには、**AUDIO**を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.128)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIOを2秒以上押す

- オーディオをONにするにはオーディオOFFの状態では、**AUDIO**を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ



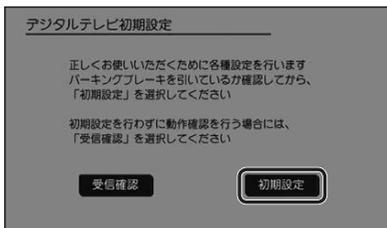
- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

- オーディオをONにするにはツートップメニューから**AUDIO ON**を選ぶ

テレビ初期設定を行う

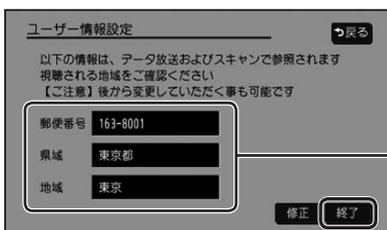
初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。
地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。

1 初期設定を選ぶ



- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。
・受信確認中は、◀▶で物理チャンネルを変更できます。

2 郵便番号、県、地域を確認し、終了を選ぶ



→ 自転車位置周辺の代表の郵便番号、県、地域が表示されます。

- 設定を修正するには**修正**を選んで、下記手順**3～5**を行います。
- これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更する

テレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.175)またはTVの初期化(P.175)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面(P.88)からユーザー情報設定を選ぶ

2 修正を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、次へを選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 東京都島部を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島県地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 鹿児島県島部を選ぶ

5 地域を選んで、完了を選ぶ

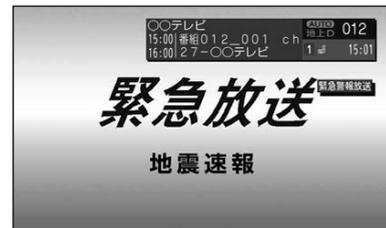
6 終了を選ぶ

緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



(イメージ)

- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。(P.171)
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません)
もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

●約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



チャンネルリスト

選局する

チャンネルリストから選ぶ

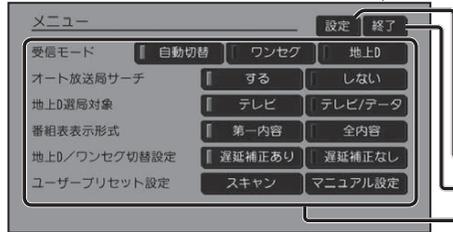
●選んだチャンネルに切り換わります。

または

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り換わります。
- 押し続けると連続してチャンネルが切り換わります。

テレビメニュー画面



◻(エリアプリセット)/ ◻(ユーザープリセット)

選局パネルを消去

番組表を表示 (P.86)

カーソルパネルを表示 (下記)

チャンネル設定を切り換え

●選ぶごとに、**USER.P**/ **AREA.P**が切り換わります。

● **AREA.P**: エリアプリセット

自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)

● **USER.P**: ユーザープリセット

自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。

■ユーザープリセットにチャンネルを記憶させる

1. ユーザープリセットが未設定の状態、**USER.P**を選ぶ

2. **はい**を選ぶ
自車位置周辺で受信できるチャンネルのスカンを開始します。

●完了するとチャンネル設定画面(P.85)が表示されます。

■ユーザープリセットのチャンネルリストを更新する
ユーザープリセット設定→P.85

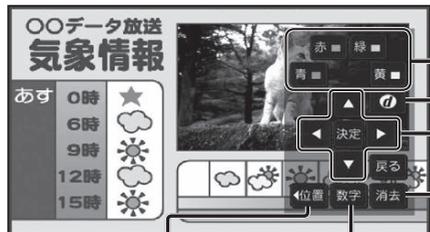
テレビの設定・情報を見る (P.88)

テレビの視聴画面に戻る

テレビメニューを設定 (P.85)

カーソルパネルの操作

選局パネル(上記)から **操作** を選ぶと、カーソルパネル(下記)が表示されます。



項目を選択

データ放送を見る

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度 **決定** を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

◀▶◀▶: 項目の選択 /

決定: 選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去

カーソルパネルを移動

数字パネルに切替

位置 ▶: もとの位置に戻す

操作: カーソルパネルに戻す

テレビメニューを設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
受信モード	<p>自動切替: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切替 「ワンセグ」: 受信状態にかかわらずワンセグを受信 「地上D」: 受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ●放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
オート放送局サーチ	<p>する: オート放送局サーチする しない: オート放送局サーチしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ●放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
地上D選局対象*1	<p>テレビ: テレビサービスのみ選局する*2 テレビ/データ: テレビサービスと独立データサービスを選局する</p> <p>*1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。</p>
番組表表示形式	<p>第一内容: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 <p>全内容: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する</p>
地上D/ワンセグ切替設定	<p>遅延補正あり: 映像・音声のズレを補正する 遅延補正なし: 映像・音声のズレを補正しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受信モード(上記)が「自動切替」のときに、設定が有効となります。 ●地上デジタル放送を十分に受信してからでないとう効果が表れない場合があります。
ユーザープリセット設定	<p>スキャン を選ぶ</p> <p>ユーザープリセットのチャンネル設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エリアプリセットモードでは設定できません。ユーザープリセットモードに切り換えてください。(P.84)
各チャンネル番号の放送局を確認して、 終了 を選ぶ	<p>チャンネル番号</p> <p>各チャンネル番号の放送局を確認して、終了 を選ぶ</p> <p>同じ放送局で受信できるチャンネル・複数表示される場合があります。 ・ワンセグは青色で表示されます。</p> <p>◻◻: チャンネル番号を選択 ◻◻: 放送局を変更</p>

テレビを見る

テレビの基本操作(続き)

番組表を見る

選局パネル(P.84)で**番組表**を選ぶと、番組表(下記)が表示されます。

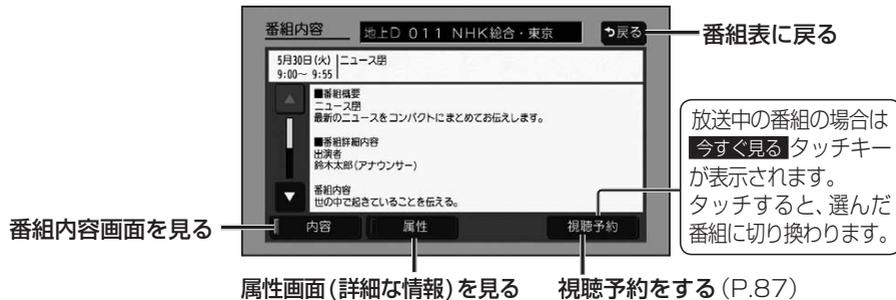
別の日の番組表を見る チャンネルを選ぶ



- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。(P.85)

番組内容を見る

番組表(上記)で**番組内容**を選ぶと、番組内容(下記)が表示されます。



視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.86)から、**視聴予約**を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切換になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
- 視聴予約を確認するには→下記

視聴予約を確認・編集する

設定画面(P.88)から、**視聴予約確認/編集**を選ぶ

- 視聴予約確認/編集画面が表示されます。



■ 視聴予約を取り消すには

1 視聴予約確認/編集画面(上記)から、取り消したい視聴予約にチェック(✓)する

2 取消を選ぶ

3 はいを選ぶ

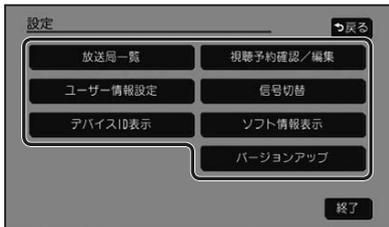
- 選んだ視聴予約が取り消されます。

テレビを見る

テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面 (P.84) から**設定**を選ぶ

2 設定画面から各項目を設定・確認する (下記)



- 終了: テレビの視聴画面に戻る

項目	設定内容
放送局一覧	放送局一覧を確認します。 ● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ● ワンセグは青色で表示されます。
視聴予約確認/編集	視聴予約を確認/取り消します。(P.87)
ユーザー情報設定	テレビ初期設定を変更します。(P.82)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」: マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映像」: 映像が複数あるときに選択できます。 「音声」: 音声複数あるときに選択できます。 「二重音声」: 二重音声の音声を選択できます。 「字幕」: 字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」: 文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
デバイスID表示	通常は、この操作は必要ありません。 ● 受信機(本機)の情報が表示されます。 ● お問い合わせの際に必要な場合があります。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。
バージョンアップ	テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。

ラジオを聞く

[FM/AM]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



オーディオチューン
(P.120~126)

受信中の放送局をリストに記憶させる(プリセットメモリー)

1 プリセットのリスト (P1/P2) を選ぶ

2 ◀▶ で周波数から選局する (右記)

3 保存したい枠を2秒以上タッチする

- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。
- P1/P2 それぞれ6局まで記憶できます。

記憶させた放送局を選ぶ (プリセット選局)

1 プリセットのリスト (P1/P2) を選ぶ

2 リストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

FM/AMを切り換える

FM/AMを選ぶ

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

自車位置に応じて放送局を切り換える(エリアモード)

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(18局まで)

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードで**エリア更新**を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する

◀▶ を押す

- 1秒以上押しと離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

お知らせ

- 本機は、ワイドFM (FM補完放送) に対応しています。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。

[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

周波数を選ぶ

お知らせ

- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定 (P.124) がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。「ディスクについて」(P.191)も併せてご覧ください。

フォーマット ディスク	BDMV	BDAV	AVCHD*3	AVCREC*3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*4	WMA*4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	—	—	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.92~95				P.96~98	P.99	P.100		

- *1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
- *2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
- *3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。
- *4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

1 TILT を押す

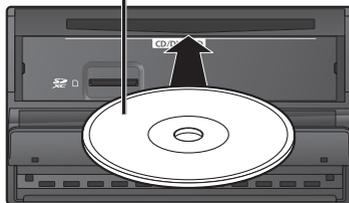
2 OPEN/EJECT 画面から OPEN を選ぶ



- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上



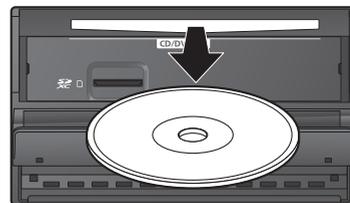
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- TILT を押して、手動でディスプレイを閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT 画面(左記)から DISC EJECT を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。

microSD メモリーカードの出し入れ

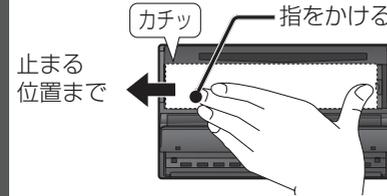
BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

- 本機で使用できる microSD メモリーカードについては、P.194 をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 TILT を押し、OPEN を選ぶ

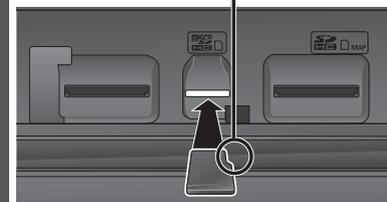
- ディスプレイが開きます。

2 パネルを左にスライドさせ、取り出す



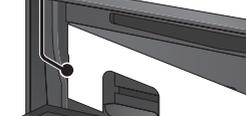
3 microSD メモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

角がカットされた側を右に



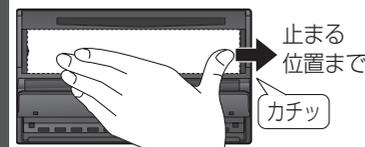
- カチッと音がするまで差し込む。

4 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



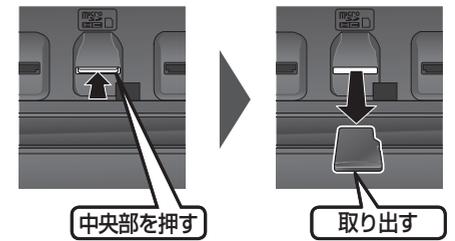
- パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

5 パネルを右にスライドさせる



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。

取り出すには



お知らせ

- microSD メモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.90、191

ディスク再生画面(BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCREC)



本編再生中に画面をタッチすると、再生操作タッチキーが表示されます。



各種切換 を選ぶと、各種切換タッチキーが表示されます。

- 操作のしかた→P.94



トップメニューを表示する

[BDMV] [AVCHD]

トップメニュー を選ぶ

ポップアップメニューを表示する

[BDMV]

ポップアップメニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する

[BD-RE] [AVCREC]

タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する

[BD-RE] [AVCREC]

プレイリスト を選ぶ

一時停止

再生中に **II** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

停止

再生中に **II** を選ぶ



- **II** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

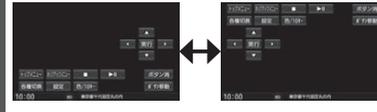
- **続き再生解除** : リジューム再生開始位置の情報を解除 (P.94)

- BD-Jはリジューム再生非対応です。

タッチキーの位置を切り換える

ボタン移動 を選ぶ

- タッチすることにより切り換わります。



ディスクによっては、メニューなどを直接タッチして操作できません。カーソル・カラーボタン・10キーで項目を選んでください。

カーソルで操作する

▲▼◀▶ でカーソルを移動し、**実行** を選ぶ



色や10キーで選ぶ

1 **色/10キー** を選ぶ

2 **カラーボタン/10キー** で項目を選ぶ



- **ボタン移動** : タッチキーを上下に移動
- **ボタン消** : タッチキー消去

早送り・早戻し

⏮ **⏭** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中 (P.92) に

⏮ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターの頭出し

⏮ **⏭** を押す

お知らせ

- ディスクによっては、パスワード入力がないと再生できないよう設定されているものがあります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**II** が表示されます。

ディスクを再生する

BDMV・BD-DAV・AVCHD・AVCRECを再生する(続き)

各種切替タッチキー(P.93)



タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイムを選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし→

音声を切り換える

音声を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

BDAV AVCREC

主/副を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声が切り換わります。

字幕の切替/消去

BDMV AVCHD

1 字幕を選ぶ

2 字幕の切替

字幕切替を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語が切り換わります。

字幕の表示/消去

字幕ON/OFFを選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去が切り換わります。

BDMV

スタイル切替を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイルが切り換わります。

アングルを切り換える

BDMV BDAV AVCREC

アングルを選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 サーチを選ぶ

2 番号を入力し、実行を選ぶ

- 切替：タイトル/チャプターを切り換
- 修正：全文字削除

副映像を切り換える BDMV

1 副映像を選ぶ

2 副映像を切り換える

映像切替を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像が切り換わります。

副映像を消去する

映像ON/OFFを選ぶ

副映像用音声を切り換える

音声切替を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声が切り換わります。

副映像用音声を消去する

音声ON/OFFを選ぶ

トップメニューからもとの再生に

戻る(リジューム) BDMV*1 AVCHD

リジュームを選ぶ

*1 BD-Jは非対応です。

BDMV・BD-DAV・AVCHD・AVCRECの設定を変える

1 再生操作タッチキー(P.92)から設定を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
言語を設定する ●言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。 ●設定した言語がBlu-ray Discに収録されていない場合や、Blu-ray Discに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 ●言語コード一覧表→P.199	言語設定 を選び、設定する [お買い上げ時の設定: 日本語] 設定>言語設定 <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクで優先されている言語に切替 ●字幕表示しない ●すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す 	
音声ダイナミックレンジで圧縮する*1 ●ドルビーデジタル再生時のみ設定できます。	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●[O N]: 圧縮する ●[OFF]: 圧縮しない
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切替を行う	HDMI出力音声 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●[ビットストリーム]: 音声をビットストリーム出力する*2 ●[LPCM]: 音声をLPCM出力する
副映像の音声とコンテンツの操作音を出力する	副映像用音声・操作音 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●[O N]: 出力する ●[OFF]: 出力しない
再生できるBlu-ray Discを制限する(レベル0~255) ●制限したい年齢の下限を目安に設定してください。 ●レベル255は制限解除です。	視聴年齢制限 を選ぶ	パスワードを入力し、決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ●クリア: 全文字削除
パスワードを変更する	パスワード変更 を選ぶ	[現在のパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワード再入力]を入力し、 決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ●パスワード*3: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ●クリア: 全文字削除
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる 本設定は本機の表示にも反映されます。 設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。	モニター設定 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●[ワイド](16:9) ●[レターボックス](4:3) ●[パン&スキャン](4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
microSDメモリーカードに保存されたBlu-ray Discのデータを削除する	BDデータ消去 を選ぶ	はい を選ぶ
本機に記録された履歴を削除する	BD履歴消去 を選ぶ	はい を選ぶ

*1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

*2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。

*3 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

お知らせ

- 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、パスワード変更、モニター設定、HDMI出力音声は、DVDでの設定と共通です。(P.98)

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.90、191

ディスク再生画面(DVD)



本編再生中に[MENU]を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。
基本操作タッチキー画面1



タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面2



設定を変える
(P.98)

タッチキーを
消去

タイトルメニューを表示する [DVD-Video]

■ **タイトル** を選ぶ

トップメニューを表示する [DVD-Video]

■ **メニュー** を選ぶ

タイトルリストを表示する [DVD-VR]

■ **タイトル** を選ぶ

プレイリストを表示する [DVD-VR]

■ **メニュー** を選ぶ

停止

再生中に **□** を選ぶ



● **▶||** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

- **続き再生解除**: リジューム再生開始位置の情報を解除(右記)

一時停止

再生中に **▶||** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

■ **音声** を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕の切り換え/消去

■ **字幕** を切り換える [DVD-Video]

■ **字幕** を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕が切り換わります。

■ **字幕** を消去する [DVD-VR]

■ **字幕** を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

■ **アングル** を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニュー
からもとの再生に戻る(リジューム)
[DVD-Video]

■ **リジューム** を選ぶ

再生時間を表示する

■ **タイム** を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし←

メニューなどをカーソルで操作する

1 **操作** を選ぶ

2 **▲▼◀▶** でカーソルを移動し、
実行 を選ぶ



- **ボタン移動**: タッチキーを左右に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

■ **リターン** を選ぶ

早送り・早戻し

■ **◀◀ ▶▶** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中(P.96)に

■ **◀◀ ▶▶** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- **◀◀▶▶**: [DVD-Video] のみ

チャプターの頭出し

■ **◀◀ ▶▶** を押す

項目を番号で選ぶ

1 **10キー** を選ぶ

2 **10キー** で番号を入力する



- **ボタン移動**: タッチキーを上下に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ
(サーチ)

1 **サーチ** を選ぶ

2 **切換** で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 **番号** を入力し、**実行** を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

■ **エンター** を選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⊗**が表示されます。

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2 (P.97) から設定を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
言語を設定する ● 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。 ● 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 ● 言語コード一覧表→P.199	言語設定 を選び、設定する [お買い上げ時の設定: 日本語]  <ul style="list-style-type: none"> ● ディスクで優先されている言語に切替 ● 字幕表示しない ● すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す 言語コードを入力して決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル、OFF を選んだ場合は、タッチキーに 言語 を選択と表示されます。 ● クリア: 全文字削除
音声ダイナミックレンジで圧縮する *1 ● ドルビーデジタル再生時のみ設定できます。	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● [O N]: 圧縮する ● [OFF]: 圧縮しない
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる 本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。	モニター設定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切り換えを行う	HDMI出力音声 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 「ビットストリーム」: 音声をビットストリーム出力する*2 ● 「LPCM」: 音声をLPCM出力する
再生できるDVDを制限する 設定範囲: (強) 1~8 (弱)、制限なし ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ 視聴制限レベルを選び、パスワードを入力して決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 設定範囲: (強) 1~8 (弱) 制限なし (制限解除) ● パスワード*3: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● クリア: 全文字削除
パスワードを変更する	パスワード変更 を選ぶ 現在のパスワード」「新しいパスワード」「パスワード再入力」を入力し、決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● パスワード*3: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● クリア: 全文字削除

*1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。
 *2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
 *3 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

お知らせ

● 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、モニター設定、HDMI出力音声、パスワード変更はBlu-ray Discでの設定と共通です。(P.95)

音楽CD (CD-DA) を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO** を押しください。

● 本機で再生できるディスクについて→P.90、191

ディスク再生画面 (CD-DA)



録音を開始する/停止する (P.102)
録音設定 (P.102)

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピート

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダム

- 全曲を順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャン

- 全曲を約10秒ずつ再生します。

オーディオチューン (P.120~126)

表示内容を切り換える

再生中の曲の情報 (上図) を表示

曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

早送り/早戻しボタンを押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

早送り/早戻しボタンを押す

音楽CDのタイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース*(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合があります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

*1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

ディスクを再生する

- [CD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.90

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、[AUDIO]を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.90、191
- 再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.195

ディスク再生画面 (MP3/WMA)



オーディオチューン (P.120~126)

表示内容を切り換える

- 再生中の曲の情報 (上図) を表示
- 曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ

← 通常再生 →

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖ / フォルダ⊕ を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

BLUETOOTH Audioを再生する

- [BLUETOOTH Audio]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

- 準備 ● BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.132)

BLUETOOTH Audio再生画面



オーディオチューン (P.120~126)

表示内容を切り換える

- 再生中の曲の情報 (上図) を表示
- 選曲モード (右記) で選択された選曲方法で、曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
 - ・音声出力や画面表示に時間がかかる。 ・音楽プレーヤーを起動する必要がある。
 - ・音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。 ・画面表示が更新されない。
 - ・タイトル、Artist、Albumが表示されない。
 - ・ナビゲーションから操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかつたり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例：iPhoneにて、ケーブル接続している場合)

選曲方法を選んで選曲する (選曲モード)

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- 選曲方法 (例:「アルバム」「ジャンル」などは、接続する機器によって異なります。)
- 「曲」を選んだ場合→手順4

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: BLUETOOTH Audio 再生画面に戻る

再生モード切替 (リピート/ランダム)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に⏸を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。
録音した音楽データを再生するときは、P.104をご覧ください。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.24)から、**CD**を選ぶ

2 **録音設定**を選ぶ

3 録音に関する設定をする



■ 録音管理

- **自動録音**：録音していないCDを、自動的にすべて録音[お買い上げ時の設定]
- **手動録音**：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定：256 kbps]

● 録音曲数の目安*1

- ・320 kbps：約1 748曲
- ・256 kbps：約2 185曲
- ・192 kbps：約2 913曲
- ・128 kbps：約4 369曲
- ・96 kbps：約5 825曲

4 **戻る**を選ぶ

* 1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合。
(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

録音する

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→上記
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.113、175)

1 音楽CDを挿入する(P.90)

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音中に表示されます

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 全曲録音**を選ぶ

2 **録音開始**を選ぶ

- 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 選択曲録音**を選ぶ

2 リストから曲を選び、**決定**を選ぶ

- 選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✓)が付いています。

3 **録音開始**を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**録音中止**を選ぶ

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。
録音したデータが正しく再生されない場合があります。

- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器(パソコンなど)では再生できません。

音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.102)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速~8倍速)
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、タイトルを手動で編集(P.106)、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.111)、またはスマートフォン向けアプリDrive P@ss(P.112)の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>
- ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- dtsCDは録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。*1
 - ・ 頭出し
 - ・ 再生モード切換(リピート/ランダム/スキャン)
 - ・ 早送り/早戻し
 - ・ タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - ・ 録音設定
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

* 1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切換などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

準備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.102)

MEMORY MUSIC再生画面



オーディオチューン
(P.120～126)

表示内容を切り換える

再生中の曲の情報(上図)を表示

アルバムのリストを表示
●表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
●リストから項目をタッチして、曲を選ぶことができます。



曲のリストを表示
●曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

早送り・早戻しボタンを押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

早送り・早戻しボタンを押す

アルバムを切り換える

アルバム- / アルバム+ を選ぶ

●選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲
- アルバム
- アーティスト
- ジャンル
- お気に入り

3 曲のリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- 名前順: 50音順に並べ換え
- 登録順: 録音日の新しい順に並べ換え

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

お願い

●SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

お知らせ

●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

本機で録音した音楽データを編集する

お気に入りフォルダで管理する

お気に入りのアルバムや曲を、お気に入りフォルダにまとめておいて、選曲モードから呼び出すことができます。(P.104)

- **お気に入りアルバム** ・1フォルダあたり200アルバムまで
・お買い上げ時のフォルダ名: お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4
- **お気に入りトラック** ・1フォルダあたり200曲まで
・お買い上げ時のフォルダ名: お気に入りトラック1～お気に入りトラック4

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.104)から登録を選ぶ

2 お気に入り▶はいを選ぶ

3 アルバム・曲を登録するお気に入りフォルダを選ぶ

- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

アルバム・曲を選んでお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.104)から編集を選ぶ

2 曲管理▶はいを選ぶ

- アルバムのリストが表示された曲管理画面に切り換わります。

3 曲管理画面(P.106)から、お気に入りに登録したいアルバム・曲を選び、お気に入り登録を選ぶ

4 登録するお気に入りフォルダを選ぶ

- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

お気に入りフォルダを編集する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.104)から編集を選ぶ

2 お気に入り管理▶はいを選ぶ

3 お気に入りを編集する

項目	操作		
お気に入りフォルダの名称を編集する ● 全角32文字(半角64文字)まで	名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ	フォルダ名編集 を選ぶ	名称を入力し、決定 を選ぶ
お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する	個別に削除する	削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、フォルダ内表示 を選ぶ	削除したいアルバム・曲を選び、削除 を選ぶ
	フォルダ内のアルバム・曲をすべて削除する	すべてのアルバム・曲を削除したいお気に入りフォルダを選び、削除 を選ぶ	はい を選ぶ

お知らせ

●お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.110～112)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

お知らせ

- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。
- 文字入力のしかた→P.190

編集するアルバム・曲を選ぶ

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.104)から**編集**を選ぶ

2 編集メニューから、**曲管理 ▶ はい**を選ぶ

- **現在のアルバム** : 再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
- **現在の曲** : 再生中の曲の情報編集画面を表示

3 曲管理画面から編集したいアルバム・曲を選ぶ

● 曲管理画面(アルバム)



リストからアルバムを選ぶ。

● 曲管理画面(トラック)



リストから曲を選ぶ。

お知らせ

- 録音中は編集できません。

アルバムの情報を編集する

1 曲管理画面(アルバム)から編集したいアルバムを選び、**アルバム編集**を選ぶ



2 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する(P.107)

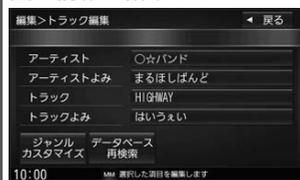


曲の情報を編集する

1 曲管理画面(トラック)から編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ



2 トラック編集画面から曲の情報を編集する(P.107)



項目	操作		決定を選ぶ
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する(P.111)	アルバム情報保存 を選ぶ	● カスタムアップデート時、アルバムの情報がSDメモリーカード・USBメモリーに書き出されます。(P.111)	
アルバムの情報を更新する(P.110～111)	データベース再検索 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	

項目	操作		決定を選ぶ
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する(P.110～111)	データベース再検索 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストから曲名を選ぶ	

本機で録音した音楽データを編集する

アルバムにジャケット写真を登録する

最大1 024 × 1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

- 1 曲管理画面 (P.106) から、ジャケット写真を登録するアルバムを選ぶ
- 2 ジャケット写真を選ぶ
- 3 ジャケット写真が保存されたメディア (SDカード / USB) を選び、ジャケット写真を選択するを選ぶ
- 4 フォルダを選ぶ
- 5 画像を選ぶ
 - 選んだ画像がアルバムのジャケット写真として登録されます。
 - すでにジャケット写真が登録されている場合は、**はい**を選んでジャケット写真を変更してください。



アルバム・曲を再生する/しないを設定する

- 1 曲管理画面 (P.106) から再生選択を選ぶ
- 2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック (✓) を外し、**決定**を選ぶ
 - チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。
 - チェックを入れると、再度再生されるようになります。
 - **全選択** : すべてのアルバム・曲にチェックを入れる
 - **全解除** : すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.104) から**登録**を選ぶ
- 2 **ジャンル** ▶ **はい**を選ぶ
- 3 再生中のアルバムを設定する場合 **アルバム単位** を選ぶ
再生中の曲を設定する場合 **トラック単位** を選ぶ
- 4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

- 1 曲管理画面 (P.106) から、削除するアルバム・曲を選ぶ
- 2 **削除** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ
 - 選んだアルバム・曲が削除されます。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.104) から**情報**を選ぶ
- 2 **SDカード情報** ▶ **はい** を選ぶ
 - SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.104) から**情報**を選ぶ
- 2 **録音データ初期化** ▶ **はい** を選ぶ
- 3 **はい** ▶ **はい** ▶ **はい** を選ぶ
 - 録音した音楽データがすべて削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenote® データベースを更新する(ローカルアップデート)

Webサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100%保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーの直下に「NVDATA」フォルダを作り、WebサイトからGracenoteデータベースの更新データをダウンロードして保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.120) から **gracenote** を選ぶ
- ② **ローカルアップデート(定期更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC 再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ 更新データを保存したメディア (**SDカード/USB**) を選び、**更新開始** を選ぶ
 - **更新履歴**: ローカルアップデートの更新履歴を表示
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

- ① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.107)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 専用アプリ「Title Finder」をWebサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

- ① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面 (P.106) から、**アルバム情報保存** を選ぶ
 - 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- ② オーディオチューン画面 (P.120) から **gracenote** を選ぶ
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ④ SD、USB、MEMORY MUSIC 再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ⑤ アルバム情報を書き出すメディア (**SDカード/USB**) を選び **書き出し** を選ぶ
- ⑥ **はい** を選ぶ
 - アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカード/USBメモリーの「NVDATA」フォルダに出力されます。
 - 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する



4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.120) から **gracenote** を選ぶ
- ② **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC 再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ タイトル情報を取り込むメディア (**SDカード/USB**) を選び **取り込み** を選ぶ
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - タイトル情報が取り込まれます。
- ⑥ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.107)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

本機で録音した音楽データを編集する

スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する

スマートフォンの通信機能を利用して、新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 「Drive P@ss」(P.142)をスマートフォンにインストールしてください。
- 詳しくは、アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

1 スマートフォンを本機に機器登録し、スマホ連携接続する (P.134)

2 Drive P@ssに切り換える (P.144)

3 アプリ選択画面から「Title Finder」を選ぶ

4 検索するを選ぶ

- 本機からスマートフォンへタイトル情報を出力し、Gracenoteサーバーにアクセスして、タイトル情報を取得します。
- タイトル情報を取得すると、タイトルリストが表示されます。

5 タイトルリストから「設定する」を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

タイトル情報に複数の候補がある場合は

タイトル情報に複数の候補がある場合は、「複数候補あり」と表示されます。候補から、正しいタイトル情報を選んでください。

1 リストから「複数候補あり」と表示されたタイトルを選ぶ

- 候補のリストが表示されます。

2 リストからタイトルを選び、「確定する」を選ぶ

- 選んだタイトルがタイトルリストに反映されます。
- 「複数候補あり」と表示されたタイトルがほかにもある場合は、再度手順5-1～5-2を行ってください。

3 設定するを選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

6 終了するを選ぶ

- Title Finderを終了します。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、PCなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)の再生ができます。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、P.104をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、P.195～197をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 TILTを押す

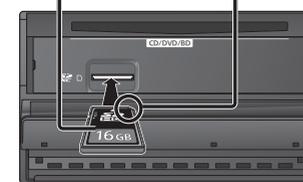
2 OPEN/EJECT画面 (P.90) からOPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

- カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが開まります。
- ディスプレイが開まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

ラベル面を上 角がカットされた側を右に

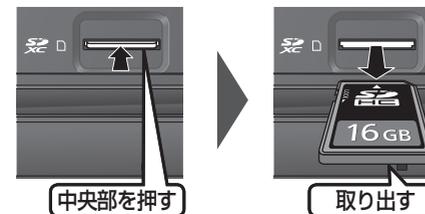


SDメモリーカードを取り出す

1 OPEN/EJECT画面 (P.90) からOPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

2 SDメモリーカードを取り出す

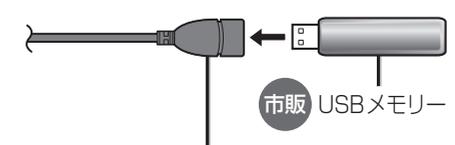


- TILTを押して、ディスプレイを閉じてください。

お願い

- 再生中にSDメモリーカード・USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB接続用中継ケーブル (CA-LUB200D)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りをおぼやかし、エアバッグの動作をおぼやかし固まらぬように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

音楽 (MP3/WMA/AAC) を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.113)

ジャケット写真

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

- ジャケット写真未設定の場合、右記のマークが表示されます。

音楽再生画面 (例: SD)



オーディオチューン
(P.120~126)

フォルダを切り換える

フォルダ⊖ / フォルダ⊕ を選ぶ

- 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始します。

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

早送り・早戻し

⏪ ⏩ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏪ ⏩ を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

音楽再生画面 (例: SD)



音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切替 を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

表示内容を切り換える

- 再生中の曲の情報 (左図) を表示
- フォルダのリストを表示
 - フォルダを選ぶと、選んだフォルダの1曲目から再生を開始します。
- 再生中フォルダの曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。

選曲方法を選んで選曲する (選曲モード)

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲: 全フォルダの全曲から選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

3 (「フォルダ」の場合のみ) リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: 音楽再生画面に戻る

静止画を再生する

準備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.113)

画像操作画面(例:SD)



画像を全画面で表示する

画像再生画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
- 画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り換える

全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- ◀▶**を押しても切り換わります。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

- 1 **モード切換**を選ぶ
- 2 **音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル**を選ぶ

画像をスライドショーで再生する

スライドショーを選ぶ

- 画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには スライドショーの画面をタッチする 停止中の画面



- 再生間隔**:再生間隔を設定
3秒[お買い上げ時の設定]/
10秒/30秒/1分
- 開始**:スライドショーを開始
- 終了**:スライドショーを終了

画像を回転させる

回転を選ぶ

- 画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

- 1 **リスト**を選ぶ
- 2 **フォルダ**を選ぶ
●サムネイル画面が表示されます。
- 3 **サムネイルから画像**を選ぶ



動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.113)

再生画面にタッチすると、
動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)



動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
- 動画操作画面で約15秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

◀▶を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

◀▶を押す

一時停止

⏸を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

- 1 **再生リスト**を選ぶ
- 2 **リストからファイル**を選ぶ
●選んだ動画を再生します。
- 3 **再生中のフォルダ以外から選ぶには**
1 **再生リスト**を選ぶ
2 **リスト変更**を選ぶ
3 **選択する方法**を選ぶ
●**全ファイル**:全フォルダの全ファイルから選ぶ
●**フォルダ**:選んだフォルダから選ぶ
- 4 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ
- 5 **リストからファイル**を選ぶ
●選んだ動画を再生します。
●**再生中画面**:動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

- 1 **モード切換**を選ぶ
- 2 **音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル**を選ぶ

iPodを再生する

[iPod]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

本機で接続確認済みのiPod (2017年8月現在)

iPhone 7 Plus	iPhone 6s	iPhone 5c	iPod touch 第6世代
iPhone 7	iPhone 6 Plus	iPhone 5	iPod touch 第5世代
iPhone SE	iPhone 6		iPod nano 第7世代
iPhone 6s Plus	iPhone 5s		

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

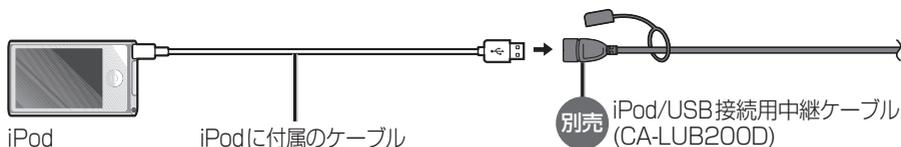
お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れます、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

準備

- iPodを本機に接続してください。

必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。



お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneを下記のとおり接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」、「CarAV remote」、「音声認識」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。
- iPodビデオ再生には対応していません。

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。



- アルバムアートワークがない
- アルバムアートワーク取得中
- 本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

※画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

iPod再生画面



オーディオチューン
(P.120~126)

ジャンル・アーティスト・アルバムのリストは、iPod再生画面からかんたんに表示させることができます。

- 🎵 : ジャンルのリストを表示
- 👤 : アーティストのリストを表示
- 📀 : アルバムのリストを表示

表示内容を切り換える

- 📄 : 曲のリスト(上図)を表示*1
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。
 - * 1 表示されるリストは、選曲方法(右記)によって異なります。

- 🎧 : 再生中の曲の情報を表示



選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲
- アルバム
- アーティスト
- ポッドキャスト
- ジャンル
- プレイリスト
- 作曲家

3 トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- **すべて** : 表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- **再生中画面** : iPod再生画面に戻る

一時停止

▶▶ を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切換(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

🔁 を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(シャッフル)

🎲 を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
シャッフルトラック*2 → シャッフルアルバム
← 通常再生 →

* 2 リストの内容は、選曲方法(上記)によって異なります。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンのモードを選ぶ

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 情報・設定メニュー(P.25)からオーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPodから「Sound」を選んで、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、モードを選ぶ



● 高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。音声はLPCMで記録されたBlu-ray Discは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。

(ビット・周波数拡張→P.124)

● エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。Blu-ray Discの高音質の音源なども、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードで別に記憶されます。(FADE/BALANCE/イコライザー、スピーカー設定を除く)

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 オーディオチューン画面(左記)からFADE/BALANCEの状態表示部をタッチする



2 ▲▼◀▶で調整する



- 車室内のイメージを直接タッチして調整することもできます。
- センターを選ぶと、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

- 「匠 TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]:
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)
- 「極 KIWAMI 高域強調」:
音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 NAGOMI 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

高音質モードの場合

1 オーディオチューン画面(P.120)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



エフェクトモードの場合

1 オーディオチューン画面(P.120)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



お知らせ

- 音の匠、SRS CS Auto、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.120)から ◀▶で「SRS CS Auto」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

- FOCUS
感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。
- TruBass
低音の強さを設定できます。
サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。
- MixToRear
フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

4 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

- FOCUS: 調整範囲: 0~4~8



- TruBass: 調整範囲: 0~4~8



- MixToRear: 調整範囲: 0~4~8



DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.120)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L: コンサートホール風の音場
- STADIUM: スタジアム風の音場
- CHURCH: 教会風の音場
- L I V E: ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、SRS CS Auto、DSPを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.120)から 車速連動VOL補正の程度を選ぶ



- HIGH MID LOW OFF
(補正大) (補正中) (補正小) (補正なし)

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面(P.120)から
ビット・周波数拡張 **ON** を選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenote®をアップデートする

1 オーディオチューン画面(P.120)から
gracenote を選ぶ



2 Gracenoteをアップデートする

■定期更新→P.110

ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ

■個別更新→P.111

カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ

■データベースの初期化

初期化▶はい▶はいを選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容を呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

オーディオチューン画面(P.120)から
呼び出したいイコライザーを選ぶ



- VOCAL: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- ROCK: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- JAZZ: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- USER: お好みで調整した音質(下記)
- OFF: 土0のフラットな音質

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。



1 オーディオチューン画面(P.120)から
イコライザーの詳細を選ぶ

2 USERを選ぶ

- 初期化: 選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す
- VOCAL|ROCK|JAZZを選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。(OFFは詳細設定できません。)

3 各周波数の値を▲▼で設定する

4 登録を選ぶ

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

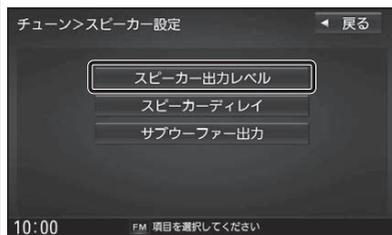
スピーカーの設定をする

スピーカー出力レベルの調整をする

- 1 オーディオをFMまたはAMに切り換える
- 2 放送局が無い周波数に合わせる
 - ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。
- 3 オーディオチューン画面(P.120)から**スピーカー設定**を選ぶ



- 4 スピーカー設定画面から**スピーカー出力レベル**を選ぶ



- 5 ◀▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

- 調整範囲: -12 dB~±0 dB~+12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

お知らせ
● SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

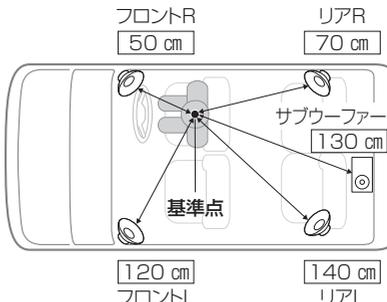
[太字:お買い上げ時の設定]

スピーカーディレイを設定する

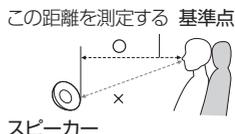
- 1 スピーカー設定画面(左記)から**スピーカーディレイ**を選ぶ

- 2 ◀▶で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲: 0 cm~100 cm~500 cm (2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。



サブウーファーを設定する

- 1 スピーカー設定画面(左記)から**サブウーファー出力**を選ぶ

- 2 ◀▶で周波数を調整する

- 調整範囲: 60 Hz~120 Hz~200 Hz
- サブウーファー側に同様の設定がある場合は、サブウーファー側の設定を最大(最も高い周波数)に設定してください。

映像を調整する

画質を調整する

- 1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[MAP]**を2秒以上押す

- カメラ画質を調整する場合は、カメラスケール表示の調整画面を表示させてください。(P.162)
- オプションカメラの画質を調整する場合は、設置位置確認画面を表示させてください。(P.159)

- 2 TV | Blu-ray Disc | DVD | SD(動画) | USB(動画) | VTR | HDMI の場合のみ
画面調整画面から**画質調整**を選ぶ



- 3 画質調整画面から画質を調整する



お買い上げ時の設定に戻すには
初期値を選ぶ

お知らせ

- もとの映像によっては、明るい部分の諧調表現がとられる場合があります。

- 明るさ**
 - ▶: 明るくなる
 - ◀: 暗くなる
- コントラスト**
 - ▶: 明暗の差が大きくなる
 - ◀: 明暗の差が小さくなる
- 色の濃さ*1**
 - ▶: 濃くなる
 - ◀: 薄くなる
- 色合い*1**
 - ▶: 緑みが強くなる
 - ◀: 赤みが強くなる

ダイナミックガンマ*1

- お買い上げ時の設定:
TV | SD(動画) | USB(動画) | VTR | HDMI: ON
Blu-ray Disc | DVD: OFF
- 映像の強弱(コントラスト)を強調する機能です。
- 選ぶごとに、ON(有効)/OFF(無効)が切り換わります。

*1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)から画面表示サイズを選ぶ

[お買い上げ時の設定: フル]

- ノーマル** 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
 - 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。
- フル** 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面(どの位置も伸ばす比率は同じ)
- ワイド** 16:9(横:縦)の画面(左右が少し黒くなる)
 - 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。
- シネマ** ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面(上下が少しカットされる)
 - Blu-ray Disc | DVD のみ

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、TV | Blu-ray Disc | DVD | SD(動画) | USB(動画) | VTR | HDMI | Drive P@ss の映像を表示できます。

1 現在地画面で

LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから

右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から

デュアルウィンドウ ▶ **OK** を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.170)

デュアルウィンドウを解除するには

1 現在地画面で

LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから

右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から

OFF ▶ **OK** を選ぶ

- デュアルウィンドウが解除されます。

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。
地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 下記の画面を表示中は、オーディオ映像は表示されません。
 - ・拡大図(P.34)表示中
 - ・地図モード画面(P.38)
 - ・渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.76、77)
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。